

水留 正流 先生

先生のプロフィール

【出身地】

埼玉県桶川市

【専攻】

刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論 刑法各論 A 刑事政策

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

オーストラリア横断



水留先生へのインタビュー

質問1 水留先生が思う、刑法の魅力とはなんですか？

水留先生： その行為が、本当にやっちゃいけないことなのか、最後の最後の究極の判断の時に必要になるのが、刑法です。そこが刑法の魅力です。

質問2 僕たちは、水留ゼミを「座学だけではなく、実地活動を通じて刑法を探求できるゼミ」にしていきたいと考えていますが、水留先生は水留ゼミをどんなゼミにしていきたいですか？

水留先生： 理想というものは、所詮は自己満足にすぎません。それを追求するのは難しいでしょう。それをもってこの質問への答えとします。

質問3 水留先生が、学生時代に「失敗したな」と感じたことや、後悔したことはありますか？

水留先生： 素敵な女性に告白できなかったことです。

質問4 先生が現代の大学生になったら、何をしたいですか？

水留先生： いろいろ考えましたが、きっと、私は何度やっても同じ道を歩むことになると思います。

質問5 最後に、学生の皆さんに一言お願いします。

水留先生： 大学は、それまでの人生をリセットできる場所です。今までの人生に自信を持っている方は、そのまま継続していけばいいし、人生を変えたい！という方は、一度人生をリセットして、新たな自分として再出発してください。

水留 ゼミの実態！（2022年度ゼミ生13名）

水留 先生のトリセツ

水留先生は、常に微笑みを絶やさないお人です。

私たちのようなものに対しても、水留先生は親切にしてくださいます。

水留先生の懐は、私たちごときでは想像もできないほど深く、研究発表の前には必ず打ち合わせをしてくださいます。

右も左もわからぬ私たちに対して、水留先生は情報（大学のイベント、就活に関すること）を教えてくださいます。

水留先生はカエルを愛していらっしゃるようですが、それと同じくらい私のことも愛してくださいます

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

普段は特にありませんが、年に数回ある研究報告の際には、原稿、パワポ、レジュメを作成し、準備しておく必要があります。

【長期休暇課題】

今年は特にありませんでした。
来年はゼミ合宿？があるかも

1. 年数回の研究報告

判例問題や自分の興味があることを、パワポを使ってみんなの前で発表します。

2. 東海学生刑法学会

他大学合同で行われる対抗戦です。
与えられた事例問題に対して、どの大学が最も優れた答案を作れるかを競います。

3. 学外活動

裁判傍聴、刑務所見学、ゼミ合宿など